

大切な 3 学期 今、学校では …

今年、数少ない“雪”に変わり、どことなく春の香りが漂ってくるのを感じる季節となりました。

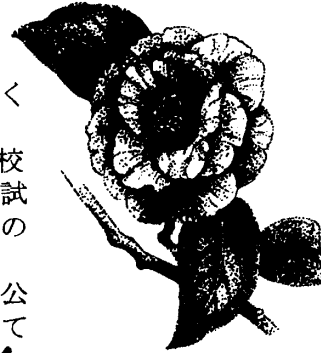
今年度も残りわずかとなりましたが、3 年生にとっては中学校を卒業し、高校という次のステップへの“挑戦”としての『私学試験』や公立高校の『前期試験』のまっただ中にあるのです。私学の推薦入試（県内外）は結果がすでに発表されました。【全員合格】

『前期試験』も発表が 2 月 2 日（月）に迫っています。私学・公立の一般、後期試験の出願も間もなくです。もう「賽は投げられているのです」あとは生徒諸君の踏ん張りのみとなったのです!!

だんだん進路先が決まった生徒が増えてくると、焦りや迷いが出てくる人もいますが、「自分で選んだ進路」です。自分で責任を持ち、良い方に明るく解釈しましょう。たった一度の自分の人生、クヨクヨ暗く生きても一生、明るく楽しく生きても一生。

（どちらを選びますか？）失敗したら、『それは自分を選んで課してくれたんだ。お前ならこの苦しみを乗り越えられるから』という気持ちで強く生きられたら良いですよネ!!

また、それぞれの学年も“進級”していくためのステップアップへの時期を控えて気持ちを“チェンジ”する時を迎えております。私がこの一年言い続けてきた『自分の一生。自分の進むレールは自分で引く』を忘れず努力して欲しいと思います。



「子どもたちの『学力』」について

今までこの学校便り「けいあい」を通じて色々なことを書いてきましたが、今回は「学力」について、その“基本的な捉え方”を述べてみることにします。

私は、まず「学力アップするための近道」は、生徒たちがその教科の勉強を好きになることだと考えます。「好きになること」が「わかる→できる」こと。また、「わかる→できる」が「好きになること」の一番ではないでしょうか。できるようになれば、「やる意欲＝やる気」も加速度的に進み、当然「学力」もついてくるのです。これは、教師・保護者の何気ない一言、言葉かけ、行動が“生徒たちにその教科を好きにさせる”大きな要因なのです。一方、子どもたちは『勉強は嫌いだが、大切なもの』とも思っています。『嫌いだが…』＝嫌いなものは好きにさせること。嫌いな教科を克服させることは大変なことですが、好きなことから勉強をさせる方法もあるのです。生徒たちだけでなく、大人を含め人間は好きなことには夢中になります。好きなことをやっているうちに、問題は派生的に生まれ、興味関心が広がり、他へ移ったりしていくからです。

ノーベル賞（物理学賞）を受賞した小柴教授は、「好きな先生が教える教科が好きになるということが多い」（H14. 10. 10 東京新聞より）と言っていますが、「勉強は大切だ」ではなく、「勉強は必要なもの」であり、勉強は人間の成長にとって不可欠なものであって「必要」なもの＝「人間として生きていくために必要なもの」なのです。

また、我々教師集団の研究からみると「生徒の事実こそ目を向ける」事が大事であり、①教師による指導が生徒たちにどう受けとめられているかを知ること、②生徒の事実から謙虚に学び、指導法を改善していくことが、教師にも求められるべきことである。と考えます。学校評価の生徒向けアンケート結果についても、学習の基本としての「授業の中でわからないことを尋ねたり、友達に聞く」「学習道具を前日のうちにそろえる」等 生徒たちの生活習慣がきちんと身に付いているか否かも、『できる・わかる』に影響を及ぼしているのを改善をさせていきたいとも思っています。

◆◆◆ 「失神ゲーム」は、ゲームではありません！（命の重さを考えて！） ◆◆◆

最近インターネット等で「失神ゲーム」なるものが紹介されていますが、本校でも、つい先日この「失神ゲーム」による“怪我人”がでたばかりです。これは正式名称を「ヘーリング・プロイヤー反応」といい、深呼吸をさせ息を止めさせた直後にみぞおちを強く押して気を失わせるものです。息を吸った瞬間に胸をパンと押すと、胸に圧がかかり、肺の圧受容体が興奮して、心臓に『動くな』という命令を与えます。そのために、心臓が止まり、脳に血液がいかなくなって意識がなくなり、障害や死亡の恐れもあるのです。（2002. 11月に東京の小学生がこの遊びによって怪我をする事故を起こす）

これは遊びの域を超えたものです。興味本位に走らず、人間の命の重さを考え、「絶対にしない」ようご家庭においてもご指導をお願いいたします。



◆◆◆ アンサンブルコンテストで「金賞」を受賞しました！ ◆◆◆

平成21年1月17日に所沢市文化センターにおいて開催された平成20年度第14回西関東アンサンブルコンテストにおいて、山梨県の代表として出場した本校の木管八重奏”と“金管八重奏”とが両方共に「金賞」を受賞しました。この結果木管八重奏は3月20日に富山市で行われる第32回全日本アンサンブルコンテストに出場することとなりました。クリスマス、冬休み、お正月も返上し頑張ったアンサンブルの皆さんに「拍手」です。

- ◎金管八重奏 河野 静, 今村祐香, 古川 萌, 篠原礼哉, 西村奈々, 小尾麻里子, 一条彩絵, 槌屋 真
- ◎木管八重奏 長田愛美, 飯沼穂那美, 武川明日香, 中田万智子, 加藤未来, 松田麻里, 神澤晃季, 井上奈那

◆◆◆ 「3年生を送る会」が開かれます！ ◆◆◆

この「3年生を送る会」は、佐野先生からバトンを受けた土屋先生率いる生徒会本部による最初の行事ですので、全員一丸となって、『成功させよう』と頑張っております。今までお世話になった3年生に喜んでもらえるようにと考えて企画したそうです。

◆ 日 時 平成21年2月19日（木） PM 1:30～

◆ 場 所 敷島中学校体育館

○プログラムは次のとおりです。

- ① 開会式、オープニング
- ② 1年生発表（学年合唱他）
- ③ 2年生発表（学年合唱他）
- ④ 吹奏楽部発表

- ⑤ 美術部発表・スライド・離任された先生
- ⑥ エール（エッサッサ）
- ⑦ 3年生発表（学年合唱他）
- ⑧ 全校合唱 『河口』
- ⑨ 閉会式



◇ 「3年生を送る会」ですので、保護者の皆様方もお気軽にご参観下さい！！

◆◆◆ 頑張った敷島中の生徒たち！ ◆◆◆

◎第58回中巨摩小中学校教育祭区工美術作品展

【県特選】 武川明日香(3-1) 内藤滉貴(2-1) 大村優果(2-1) 山村有紀(1-2)

村松裕太(1-5)

【郡特選】 輿水烈旺(3-1) 藤原英美(3-2) 槌屋 真(3-3) 土屋勇歩(3-4)

篠原礼哉(2-1) 小田切覚史(2-2) 小林俊介(2-3) 末廣直哉(2-4)

三橋東奈(1-1) 加藤史也(1-2) 平田彩奈(1-3) 佐藤果歩(1-4)

小川恭平(1-5) 遠藤咲紀(1-6)

◎東京インドアオープン2009大会

【リカーブジュニア男子】 1位 佐藤智大 2位 鬼山直也 3位 岡部 歩

4位 三井快真 5位 出澤拓磨

【リカーブジュニア女子】 1位 永田有紗 2位 鬼山美佳 3位 手塚みゆき